

日吉台地下壕保存の会 講演会のお知らせ

日 時：2018年6月9日（土） 13：00～14：45

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

講 師：白井 厚 氏 慶應義塾大学名誉教授（社会思想史）

演 題：「『大学と戦争』から思うこと」

主 催：日吉台地下壕保存の会

☆参加費は無料、事前予約不要。どなたでも参加できます。

【講演内容】

日本は戦争放棄と同時に、戦争研究も放棄してしまったのではないか。アジア太平洋戦争で大学はどんな役割を担ったのか。戦争責任は？戦後責任は？ 講師の白井厚氏は30年間、それを問い続けてきました。その研究の中で「思うこと」は何だったのか、改めて話していただきます。

【講師プロフィール】

1930年東京生まれ 慶應義塾大学経済学部名誉教授 経済学博士

旧制麻布中学校在学中に勤労働員、空襲、飢えを経験する。慶應義塾大学経済学部で平井新（社会思想史）と高橋誠一郎（経済学史）の両教授に師事する。1996年定年退職までの約40年間慶應義塾大学の教壇に立つ。「大学と戦争」「学徒出陣」研究の先駆者として、大きな影響を日本の大学人に与えた。また、日吉台地下壕保存の会の初期からの会員であり、長年顧問として会を支えた功労者のひとりである。

【主な著書】

『社会思想史断章』日本経済評論社・『慶應義塾消費組合史』（監修）慶應義塾大学出版会・『オクスフォードから』（白井堯子と共著）日本経済評論社・『いま特攻隊の死を考える』（編著 岩波ブックレット）岩波書店・『太平洋戦争と慶應義塾』（共同研究）慶應義塾大学出版会・『証言太平洋戦争下の慶應義塾』慶應義塾大学出版会・『大学における戦没者追悼を考える』慶應義塾大学出版会ほか多数。

☆講演会終了後、15：00～16：00の予定で、2018年度日吉台地下壕保存の会総会が行われます。